



今年度は…積み重ね学習が大切 毎週取り組んでみよう…基礎復習のミニプリント

いよいよ受験生となった今年。今年度は、皆さんの学力向上・家庭学習習慣の定着を目指して『ミニプリント』学習を実施していこうと思います。実施の方法は以下の通りです。さっそく来週からスタートしたいと思います。皆さん頑張りましょう！

=ミニプリ学習について=

- ・授業の既習範囲のプリントに、定期的に取り組む。
- ・1回1枚で
- ・(とりあえず)2教科<社会・数学>のミニプリント

教科 月/社会(中嶋) 金/数学(和田先生)

- (1) 問題プリントは、帰り学活までに配布。家で取り組む。
- (2) 翌日の朝学活で学級ごとに回収。教科担当へ集約。
- (3) 月曜日配付教科(社会)は週末(金曜日)が最終〆切
金曜日配付教科(数学)は翌週月曜日最終〆切
- (4) 担当の先生が確認して、解答とともに(基本的に)教科授業で返却する。

フランシスコ・ザビエルの進路選択

フランシスコ・ザビエルは、今でこそ「日本にキリスト教を伝えた人物」として知られていますが、若い頃から順調に道が開けていたわけではありません。裕福な家に生まれながらも、戦乱によって家は没落し、将来への不安を抱えながらパリ大学へ進学しました。そこで彼は、後に生涯の仲間となるイグナチオ・デ・ロヨラと出会います。



ロヨラはザビエルに「自分の力を、誰かのために使ってみてはどうかと語りかけました。この言葉は、当時のザビエルにとって大きな転機となり、彼は自分の進むべき道を深く考えるようになります。もともとザビエルは学者として成功する道もありました。しかし、出会いや経験を通して「世界の人々の役に立ちたい」という思いが強まり、ついには遠いアジアへ旅立つ決意をします。インドを経て日本にまでたどり着いたのは、彼が自分の進路を「誰のために、何のために選ぶのか」という問いに向き合い続けた結果でした。

進路選択に正解はありません。なぜなら、皆さんがあらゆる可能性を秘めているからです。ザビエルも最初から道が決まっていたわけではなく、迷いながら、自分の興味や価値観、人とのつながりを大切にしながら進んでいきました。皆さんも、今の自分にできることや興味のあることを手がかりに、少しずつ未来の方向を探していけばよいのです。迷うことは、成長している証です。3年生らしい自分らしい進路を見つけるために、一歩ずつ前へ進んでいきましょう。